

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地					
福岡ビューティー アート専門学校		平成12年3月31日		岩本 克也		〒 812-0013 (住所) 福岡県福岡市博多区博多駅東1-16-28 (電話) 092-434-7131					
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地					
学校法人三幸学園		昭和60年3月8日		鳥居 敏		〒 113-0033 (住所) 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-6151					
分野	認定課程名	認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度					
衛生	衛生専門課程	トータルビューティー科		平成14(2002)年度	-	平成29(2017)年度					
学科の目的	「ありがとうといわれる美容のプロになる」をビジョンとし、メイク・エステ・ネイルなど「美」の知識・技術をトータルに身に付け、美容の関連分野において、活躍する人材を育成するため、必要とされる知識と技術を教授する事を目的とする。										
学科の特徴(主な教育内容、取得可能な資格等)	入学後、半年間はメイク・エステ・ネイルがトータルに学べ、自分の好きをトコトン学べる選択授業も豊富。現場経験を重ねて即戦力になれる有給企業インターンシップ制度もある。主な取得可能な資格は、メイク検定アドバンスやネイリスト技能検定2級等。美容師免許取得コースでは、美容師国家資格取得もめざせる。										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技			
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間			
			62 単位	122 単位	145 単位	14 単位	0 単位	13 単位			
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)	中退率						
144 人	145 人	1 人		1%	0%						
就職等の状況	■卒業生数(C)		76 人								
	■就職希望者数(D)		41 人								
	■就職者数(E)		39 人								
	■地元就職者数(F)		31 人								
	■就職率(E/D)		95 %								
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		79 %								
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		51 %								
	■進学者数		7 人								
	■その他										
	(令和 5 年度卒業者に関する令和 6 年 5 月 1 日時点の情報)										
■主な就職先、業界等 (令和5年度卒業生) 百貨店、化粧品メーカー、美容室、エステサロン、ネイルサロン、ブライダル関連企業等											
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載				無						
	評価団体:		受審年月:		評価結果を掲載したホームページURL						
当該学科のホームページURL	https://www.sanko.ac.jp/fukuoka-beauty/										
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定)										
	総授業時数										単位時間
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数										単位時間
	うち企業等と連携した演習の授業時数										単位時間
	うち必修授業時数										単位時間
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数										単位時間
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数										単位時間
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)										単位時間
	(B: 単位数による算定)										
	総単位数										62 単位
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数										2 単位
	うち企業等と連携した演習の単位数										0 単位
	うち必修単位数										0 単位
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数										0 単位
うち企業等と連携した必修の演習の単位数										0 単位	
(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)										0 単位	
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者		(専修学校設置基準第41条第1項第1号)							9 人	
	② 学士の学位を有する者等		(専修学校設置基準第41条第1項第2号)							1 人	
	③ 高等学校教諭等経験者		(専修学校設置基準第41条第1項第3号)							0 人	
	④ 修士の学位又は専門職学位		(専修学校設置基準第41条第1項第4号)							0 人	
	⑤ その他		(専修学校設置基準第41条第1項第5号)							3 人	
	計									13 人	
上記①~⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数									12 人		

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、実践的かつ専門的な職業教育を実施することを目的として、教育課程編成委員会を設置する。委員会は次の各号に掲げる事項を審議し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

- (1)カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- (2)各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- (3)教科書・教材の選定に関する事項
- (4)その他、教員としての資質・能力の育成に必要な研修に関する事項等

またより正確に業界における動向や求められる人材要件を把握するため、就職・実習先企業や業界団体、資格・検定団体等と関係性を深め、幅広く連携を図ることで、業界の求めるニーズを確実に捉え、本校のカリキュラムや授業内容に反映する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報・意思を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するに相応しい教育課程の編成を協力して行うものとして位置づけている。

具体的には、審議を通じて示された教育課程編成に係る意見を基に、副校長および各校教務チームによって教育課程およびシラバスの改善素案が作成され、美容分野専門委員会にて提案される。

提案に基づき、美容分野専門委員会にて審議の上、次年度の教育課程およびシラバスに改善内容が反映される。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
野呂 晃大	特定非営利活動法人日本ヘアカラー協会 執行部理事	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(1年)	①
長谷 栄次	有限会社アージュ 代表取締役	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(1年)	③
宮本 恒平	株式会社田谷 九州営業グループ・グループ長	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(1年)	③
清水 智子	株式会社ソシエ・ワールド 採用担当主任	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(1年)	③
仲 晋治	株式会社阪急阪神百貨店 人事室人事業務推進部	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(1年)	③
本多 未佐	福岡ビューティーアート専門学校 副校長	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(1年)	—
眞光 涼	福岡ビューティーアート専門学校 副校長	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(1年)	—
宮原 秀人	福岡ビューティーアート専門学校 教務主任	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(1年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(6月、11月)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年6月22日 15:00～16:30

第2回 令和5年11月9日 15:00～16:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

委員会にていただいた以下の意見について対応を行っている。

～普段の授業と行事(一般の方々向けの施術・接客のアウトプット)との連携について

〈頂戴したご意見〉

(1)アウトプットの機会をマイナスに捉える学生もいるのが現状。しかし現場では接客スキルを求められるため在学中に体験する場は必要。外部講師を招き実践的なスキルを学ぶ機会を設けてはどうか。

⇒対応:授業の担当教員がメインとなり、外部講師によるポイント授業を導入。

(2)振り返りの機会を必ず設け、問題・課題を当日中に解決させる事が重要。お客様からヒアリング(評価)の機会をも設定すると良い。

⇒対応:ビューティーカウンセリング、エステティックカウンセリングの授業において、直接的なヒアリング方法のトレーニングとともに施術後アンケート内容を検討し行事当日には施術後アンケートを実施。

(3)実際の現場では集客は必須。今回の行事でも学生自身が集客を行う機会を設けてはどうか。

⇒対応:直接的な声掛けは必須として、SNS・WEBフォトスキルの授業内で基礎及びSNSの運営を学び実際に集客方法として活用。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実践的な指導を施すにあたり、美容業界における実績や、実践的かつ専門的な知識・技術およびその指導能力を有する指導者が得られる企業等を選定し、実践計画の作成から連携を図る。美容業界の求める人材要件に沿った計画、および評価基準・方法を設定し、企業等からのフィードバックに基づいた成績評価を行うことを基本方針とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

* 授業内容について

2年次に2週間程度、連携企業先で現場実習を実施し、美容業界への知識や社会人としてのマナーを習得する。

* 評価について

連携企業による項目別の評価をもとに最終評価に反映させ、成績認定を行うものとする。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
サロンワーク I-E	1.【校内】企業等からの講師がすべての授業を主担当	マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う	エル・シー・エス株式会社

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的にやっていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

実践的かつ専門的な職業教育を実施し、明日の美容業界を担う人材を養成するためには、教員一人ひとりが常に業界ならびに実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけようという向上心がなければならない。そのために、「研修等に係る諸規程」に基づき、計画的に以下の研修を実施している。

・企業等から講師を招いた実践的かつ専門的な知識・技術・技能を修得するための研修

・企業等から講師を招いた指導力の修得・向上のための研修

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	BA分野サマーセミナー	連携企業等:	株式会社リクルート
期間:	2023年8月22日(火)	対象:	教職員(15名)
内容	美容業界の魅力、最新トレンド、業界教育について		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	Z世代について	連携企業等:	リカレント株式会社
期間:	2023年9月26日(火)	対象:	教職員(50名)
内容	Z世代の特徴を理解し指導力向上につなげる		

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	BA分野サマーセミナー	連携企業等:	ELCジャパン合同会社
期間:	2024年8月23日(金)	対象:	教職員(11名)
内容	企業が求める人材育成について		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	指導力向上研修	連携企業等:	株式会社FCE
期間:	2025年3月4日(火)	対象:	教職員(50名)
内容	現代の学生に合わせた指導方法について		

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者として、関連分野の業界関係者及び卒業生、地域に根差した関連企業と共に、学校関係者評価委員会を設置して、教育目標や教育について評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とする。

学校関係者評価は、「専修学校における学校評価のガイドライン」の評価項目を使用して実施した自己点検・自己評価の結果を基に「実施することを基本方針とする。また評価結果は学校のホームページで公表し、委員会で得られた意見についてはすみやかに集約し、各業務担当者にフィードバックすることで、学校運営の改善に生かすものとする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	(1) 教育理念・目標
(2) 学校運営	(2) 学校運営
(3) 教育活動	(3) 教育活動
(4) 学修成果	(4) 学修成果
(5) 学生支援	(5) 学生支援
(6) 教育環境	(6) 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	(7) 学生の受入れ募集
(8) 財務	(8) 財務
(9) 法令等の遵守	(9) 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	(10) 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

委員会にいただいた以下の意見について対応を行っている。

・教育活動について

資格、検定の取得・合格率を上げるためには、資格、検定の内容を深く理解することが必要。

⇒対応: 資格・検定に紐づく教科の授業の中で資格・検定取得の内容と現場の業務と関連付けて解説を行う。合格・取得のためだけの学びとならぬよう務める。

・教育環境

職種によっては小規模展開が多く、インターンシップの受入体制が整っていない所も多い。まずは受入期間を短期にするなどスモールステップから進めていく(交渉していく)ことや、卒業生が活躍している現場との企業連携を強化してはどうか。

⇒対応: 教員陣は授業調整を行い、企業の新規開拓における具体的な数値目標を設定。卒業生が勤務する企業は優先度高く訪問。また、企業ガイダンスでは企業差様向けに学校、学科説明の機会を設け自校の認知拡大を図る。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和6年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
竹内 弘行	株式会社かいのホールディングス	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(1年)	業界関係者
丸山 美由紀	有限会社西岡総業	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(1年)	地域住民
能勢 健次	株式会社TAT	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(1年)	業界関係者
梅原 彩	一般社団法人 日本化粧品検定協会	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(1年)	業界関係者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.sanko.ac.jp/fukuoka-beauty/disclosure/>

公表時期: 令和6年8月26日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に則って情報提供を行うことを基本方針とし、以下の姿を目指す。

1. 学校の指導方針や課題への対応方法等に関し、教職員・生徒間、学校・家庭間の共通理解が深まり、教育活動の活性化や学校運営の円滑化につなげること。

2. 入学希望者やその保護者に対し、進路選択に当たっての有用な情報を提供するとともに、一人ひとりの能力・適性にあった望ましい進路の実現に資すること。

3. キャリア教育・職業教育をはじめとした教育活動の状況等について、業界関係者に情報提供することで、相互の対話が促され、実習・就職指導等企業等との連携による活動の充実や、業界等のニーズを踏まえた教育内容・方法の改善につなげること。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標および計画
(2)各学科等の教育	学科概要、カリキュラム、シラバス、客観的な指標の算出方法、卒業要
(3)教職員	教員数、組織、専門性
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み、実習実技への取り組み
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事
(6)学生の生活支援	生活上の諸問題への対応
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金、就学支援
(8)学校の財務	学校の財務
(9)学校評価	自己評価・学校関係者評価結果
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ) 広報誌等の刊行物 ・ その他())
URL: <https://www.sanko.ac.jp/fukuoka-beauty/disclosure/>
公表時期: 令和6年8月26日

授業科目等の概要

(衛生専門課程 トータルビューティー科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			サロンマナーⅠ	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など社会人としての考え方、ルールやマナーを身につける	1・前	30	2	○			○			○	
2	○			カラーコーディネートⅠ	色に関する知識、法則、技法を理解する	1・前	30	2	○			○				○
3	○			未来デザインプログラムⅠ	三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」を体現する為の授業として、7つの習慣を体系的に学ぶことで、社会人／職業人としてあるべき人格を高め、主体性を発揮して物事にチャレンジできる人材に成長する	1・前	15	1	○			○		○		
4			○	デッサン・イラストレーション	観察力と洞察力を養い芸術を理解する	1・前	30	2	○			○				○
5			○	皮膚学Ⅰ	皮膚の働きのしくみを理解し、美しく健康に保つためのスキンケアの方法を学ぶ ・皮膚の基礎知識 ・美容上大切な皮膚の6つの働き	1・前	30	2	○			○				○
6			○	生理学Ⅰ	人体の仕組み、構造と働きの基本を理解する(骨格系・筋系・神経系)	1・前	30	2	○			○				○
7			○	栄養学Ⅰ	人間の栄養素の必要量、食品成分、食料の消費と経済、食習慣、食品の栄養価、食事と健康を理解する(5大栄養素・栄養所要量・食物摂取とその消化吸収)	1・前	15	1	○			○				○
8			○	化粧品学Ⅰ	化粧品の法律上の扱いや分類、取り扱い上の留意点、化粧品の目的と機能、使用される主な原料を学ぶ(化粧品概論・ネイル、メイク、ヘアケア化粧品・フレグランス・化粧品の原料)	1・前	15	1	○			○				○
9			○	エステティック概論・衛生学・関係法規Ⅰ	エステティックの全体像を正しく理解し、本質を知る。法の基礎知識を学び、エステティックに関わる法律、自主基準を理解する。	1・前	15	1	○			○				○

34			○	プロボディ I	全身のマッサージを学び、採寸から分析しクライアントに合わせたマッサージを提供する。注意事項・禁忌事項を学び身体の状態にあったトリートメントを提供できる知識、技術を身につける	1・後	60	2			○		○					○
35			○	アロマテラピー I-G	アロマテラピーの基礎知識、精油のプロフィール、トリートメント法、嗅覚のメカニズムや脳の構造から香りの作用、健康学、アロマテラピーに関わる法律問題・資格制度を学ぶ	1・後	15	1			○		○					○
36			○	アロマテラピー I	アロマテラピーの基礎知識、精油のプロフィール、トリートメント法、嗅覚のメカニズムや脳の構造から香りの作用、健康学、アロマテラピーに関わる法律問題・資格制度を学ぶ	1・後	30	2			○		○					○
37			○	スカルプチュア	JNEC1級課題となるスカルプチュア・イクステンションの基礎を学び、知識とともに技術向上を目指し、アクリリックの特性を理解して施術が出来る	1・後	45	1			○		○					○
38			○	ネイルケア&ネイルアート I-F	JNEC2級検定へ向けて、ニッパーのハンドリングやファイリング技術の強化と共に、様々なネイルアート（フラット）を描くことが出来る	1・後	45	2			○		○					○
39			○	検定対策 I	JNEC3級検定を取得し、更なる上の級やJNAジェル検定初級の取得を目指し、ネイリストとしての基礎の完全にマスターし、実践できる	1・後	45	3			○		○					○
40			○	ジェルネイル I	ジェルの基礎を学び知識とともに技術向上を目指し、特性を理解して説明して施術が出来る	1・後	45	1			○		○					○
41			○	コンテスト I	授業内で技術を磨き競わせ、自身で諦めない気持ちやモチベーションを向上させ維持することを実践できる	1・後	15	1			○		○					○
42			○	フェイシャル&ボディ I	身体や皮膚の生理機能に基づいたフェイシャル・ボディトリートメントを学び、エステティックの流れ、基本の手技を覚え一つ一つの手技の意味を理解する	1・後	45	1			○		○					○
43			○	ネイルアート I	JNEC3級のアートに加えて、更に上級検定やサロンで通用するネイルアートの技法を学び習得し、アートでの色使いや筆の使い方を習得する	1・後	30	1			○		○					○
44			○	ネイル演習	JNEC3級の取得をして、更に上級のJNEC2級検定へ向けて付け爪などの技術を習得し、より深くネイルケアの大切さを理解する	1・後	30	1			○		○					○

85	○	サロンワークⅡ-D	マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う	2・後	60	2			○	○							○	
86	○	サロンワークⅠ-E	マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う	2・前	60	2			○	○							○	○
87	○	サロンワークⅡ-E	マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う	2・後	60	2			○	○							○	
88	○	エステティックカウンセリングⅡ	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。お手入れとアドバイスを専門的に与える知識を身につける	2・前	30	2	○			○							○	
89	○	エステティックカウンセリングⅢ	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。お手入れとアドバイスを専門的に与える知識を身につける	2・後	30	2	○			○							○	
90	○	サロントリートメントⅠ	選択科目の知識、技術を学ぶ (東洋医学・フットケア・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー・タラソセラピー・ストーンセラピー)	2・前	45	2		○		○							○	
91	○	サロントリートメントⅡ	選択科目の知識、技術を学ぶ (東洋医学・フットケア・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー・タラソセラピー・ストーンセラピー)	2・後	45	2		○		○							○	
92	○	エステティック総論Ⅰ-A	エステティック知識総合(資格試験対応) ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ	2・前	60	4	○			○							○	
93	○	エステティック総論Ⅱ-A	エステティック知識総合(資格試験対応) ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ	2・後	60	4	○			○							○	
94	○	フェイシャルマニピュレーションⅠ	応用トリートメント(資格試験対応) ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだハンドテクニク技術、知識を深める	2・前	45	2		○		○							○	
95	○	フェイシャルマニピュレーションⅡ	応用トリートメント(資格試験対応) ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだハンドテクニク技術、知識を深める	2・後	45	2		○		○							○	
96	○	フェイシャルスキンケアⅠ	応用トリートメント(資格試験対応) ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだハンドテクニク技術、知識を深める 電気機器の正しい取り扱い、効果、禁忌事項、留意点について理解する	2・前	45	1		○		○							○	

109			○	エステティック 総論Ⅱ-B	エステティック知識総合（資格試験対応） （皮膚学・生理解剖学・栄養学・化粧品学・ 概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ）	2・ 後	30	2	○			○		○			
110			○	エステティック 総論Ⅰ-C	アロマセラピー検定対策（H専攻対応） アロマセラピーⅠで学んだ知識の総復習 選択科目の理論を学ぶ（東洋医学・フラワー レメディ・アーユルヴェーダー・ロミロミ・ カラーセラピー）	2・ 前	15	1	○			○					○
111			○	エステティック 総論Ⅱ-C	アロマセラピー検定対策（H専攻対応） アロマセラピーⅠで学んだ知識の総復習 選択科目の理論を学ぶ（東洋医学・フラワー レメディ・アーユルヴェーダー・ロミロミ・ カラーセラピー）	2・ 後	15	1	○			○					○
112			○	アロマセラ ピー総論Ⅰ	エステティック知識総合 （スキントッチと効果・脳の誕生と進化・機 能・脳神経の構造と働き・心と肥満の関わり ・ハーブのプロフィール）	2・ 前	30	2	○			○					○
113			○	アロマセラ ピー総論Ⅱ	エステティック知識総合 （スキントッチと効果・脳の誕生と進化・機 能・脳神経の構造と働き・心と肥満の関わり ・ハーブのプロフィール）	2・ 後	30	2	○			○					○
114			○	スパセラピー Ⅰ	選択科目の技術を学ぶ（東洋医学・フットケ ア・リンパドレナージュ・アーユルヴェー ダー）	2・ 前	60	3		○		○					○
115			○	スパセラピー Ⅱ	選択科目の技術を学ぶ（東洋医学・フットケ ア・リンパドレナージュ・アーユルヴェー ダー）	2・ 後	60	3		○		○					○
116			○	検定対策Ⅱ	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格に 繋がる知識・技術をマスターし、実践できる	2・ 前	60	4	○			○					○
117			○	検定対策Ⅲ	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格に 繋がる知識・技術をマスターし、実践できる	2・ 後	60	4	○			○					○
118			○	検定対策&ス カルプチュア Ⅰ	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格レ ベルの知識技術をマスターし、サロンで通用 するスカルプチュア技術の習得する	2・ 前	60	4	○			○					○
119			○	検定対策&ス カルプチュア Ⅱ	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格レ ベルの知識技術をマスターし、サロンで通用 するスカルプチュア技術の習得する	2・ 後	60	4	○			○					○
120			○	ジェルネイル Ⅱ	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面と もマスターし、お客様にご説明して施術でき る	2・ 前	60	2		○		○					○
121			○	ジェルネイル Ⅲ	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面と もマスターし、お客様にご説明して施術でき る	2・ 後	60	2		○		○					○

135			○	フェイシャル &ボディⅢ	フェイシャル&ボディⅠで学んだエステティック機器の使用・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントの理解を深める	2・後	60	3		○		○		○				
136			○	ネイルケア &ネイルアートⅠ-G	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った付け爪を学び、JNEC2級検定取得を目指し、サロンで接客のできるアートなども含めて技術を習得する	2・前	30	1		○		○						○
137			○	ネイルケア &ネイルアートⅡ-G	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った付け爪を学び、JNEC2級検定取得を目指し、サロンで接客のできるアートなども含めて技術を習得する	2・後	30	1		○		○						○
138			○	検定対策 &ジェルⅠ	JNEC2級・JNAジェル検定初級取得し、デザインジェルをマスターし、サロンでお客様に説明しながら施術が出来る	2・前	30	2		○		○						○
139			○	検定対策 &ジェルⅡ	JNEC2級・JNAジェル検定初級取得し、デザインジェルをマスターし、サロンでお客様に説明しながら施術が出来る	2・後	30	2		○		○						○
140			○	パーソナルヘア &メイクⅡ	1年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする	2・前	30	1		○		○						○
141			○	パーソナルヘア &メイクⅢ	1年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする	2・後	30	1		○		○						○
142			○	トータルメイクⅠ	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施述タイムも意識しながら実践を行う	2・前	30	1		○		○						○
143			○	トータルメイクⅡ	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施述タイムも意識しながら実践を行う	2・後	30	1		○		○						○
144			○	ヨガ・ピラティスⅠ	自分自身の身体で体感し五感を通してヨガ・ピラティスの基礎を知る。根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進する方法を知る。	2・前	30	1		○		○						○
145			○	ヨガ・ピラティスⅡ	自分自身の身体で体感し五感を通してヨガ・ピラティスの基礎を知る。根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進する方法を知る。	2・後	30	1		○		○						○
146			○	デトックスⅠ	食事・科学物質・環境・ストレスなど体内に蓄積しやすい有害物質を理解し、解毒排出方法を知る	2・前	15	1		○		○						○
147			○	デトックスⅡ	食事・科学物質・環境・ストレスなど体内に蓄積しやすい有害物質を理解し、解毒排出方法を知る	2・後	15	1		○		○						○

148			○	ダイエット学Ⅰ	栄養・運動・生活習慣など健康で美しい体を維持するための方法を知る	2・前	30	1			○		○		○		
149			○	ダイエット学Ⅱ	栄養・運動・生活習慣など健康で美しい体を維持するための方法を知る	2・後	30	1			○		○				○
150			○	着付けⅡーH	着付けに関する知識・応用技術を身につける	2・前	30	1			○		○				○
151			○	着付けⅢーH	着付けに関する知識・応用技術を身につける	2・後	30	1			○		○				○
152			○	ウォーキングⅡ	モデルとしての意識を持ち、今の自分（体型や個性）を自覚し、美しいウォーキングの技術を学びながら、クラスのレベルを上げる	2・前	30	1			○		○				○
153			○	ウォーキングⅢ	モデルとしての意識を持ち、今の自分（体型や個性）を自覚し、美しいウォーキングの技術を学びながら、クラスのレベルを上げる	2・後	30	1			○		○				○
154			○	ポージングⅡ	1年次で学んだ知識を実際に身体を使い色々なシチュエーションを想定してポーズ表現していく	2・前	30	1			○		○				○
155			○	ポージングⅢ	1年次で学んだ知識を実際に身体を使い色々なシチュエーションを想定してポーズ表現していく	2・後	30	1			○		○				○
156			○	ボイストレーニングⅡ	話し方が与える第一印象の重要性を理解し、印象良く話す為に基礎知識を身に付けさせる	2・前	30	1			○		○				○
157			○	ボイストレーニングⅢ	話し方が与える第一印象の重要性を理解し、印象良く話す為に基礎知識を身に付けさせる	2・後	30	1			○		○				○
158			○	演技Ⅱ	脚本（現場）において自分やまわりの状況を把握し、役作りをして役の感情に伝えられるようにする	2・前	30	1			○		○				○
159			○	演技Ⅲ	脚本（現場）において自分やまわりの状況を把握し、役作りをして役の感情に伝えられるようにする	2・後	30	1			○		○				○
160			○	栄養管理Ⅱ	栄養学の基礎知識を理解し、健康と栄養・サプリメント・食品添加物についてアドバイスができる	2・前	30	2	○				○				○
161			○	栄養管理Ⅲ	栄養学の基礎知識を理解し、健康と栄養・サプリメント・食品添加物についてアドバイスができる	2・後	30	2	○				○				○

162			○	インターナショナルコミュニケーションⅠ	コレクションや海外でのオーディションや仕事をしていく中で自らの表現やコミュニケーションをとれるようにする	2・前	15	1	○				○					○
163			○	インターナショナルコミュニケーションⅡ	コレクションや海外でのオーディションや仕事をしていく中で自らの表現やコミュニケーションをとれるようにする	2・後	15	1	○				○					○
164			○	ボディエクササイズⅡ	エクササイズの復習、応用、健康な食事の摂り方の習慣付けと美しいメリハリのある身体作り	2・前	30	1		○			○					○
165			○	ボディエクササイズⅢ	エクササイズの復習、応用、健康な食事の摂り方の習慣付けと美しいメリハリのある身体作り	2・後	30	1		○			○					○
166			○	ダンスⅠ	自分の個性を認識し、自分らしいポージングや服の見せ方、表情や表現力の幅を広げる	2・前	30	1		○			○					○
167			○	ダンスⅡ	自分の個性を認識し、自分らしいポージングや服の見せ方、表情や表現力の幅を広げる	2・後	30	1		○			○					○
168			○	セルフプロデュースⅡ	芸能の世界での理想と現実の違い。それらを認識させる為に、根本的な一人一人の強みと弱みを浮き彫りにして作業を中心に展開する。	2・前	30	1		○			○					○
169			○	セルフプロデュースⅢ	芸能の世界での理想と現実の違い。それらを認識させる為に、根本的な一人一人の強みと弱みを浮き彫りにして作業を中心に展開する。	2・後	30	1		○			○					○
170			○	パーソナルコーディネートⅡ	外見を創り上げる基本要素すべてを網羅する。フェイスシェイプ・ボディプロポーションを生かしていく技術を個人レベルに落とし込んで学んでいく。TPOに合わせ戦略的に外見を味方につけられるよう演出能力を創り上げる。	2・前	30	2	○				○					○
171			○	パーソナルコーディネートⅢ	外見を創り上げる基本要素すべてを網羅する。フェイスシェイプ・ボディプロポーションを生かしていく技術を個人レベルに落とし込んで学んでいく。TPOに合わせ戦略的に外見を味方につけられるよう演出能力を創り上げる。	2・後	30	2	○				○					○
172			○	撮影Ⅱ	自分の個性を認識し、自分らしいポージングや服の見せ方、表情や表現力の幅を広げる	2・前	60	2		○			○					○
173			○	撮影Ⅲ	自分の個性を認識し、自分らしいポージングや服の見せ方、表情や表現力の幅を広げる	2・後	60	2		○			○					○
174			○	メンタリティーメイキングⅡ	モデル（芸能界にむけて）のメンタルの確立とトータルピーアールのプロを目指す	2・前	30	2	○				○					○

175			○	メンタリ ティーメイ キングⅢ	モデル（芸能界にむけて）のメンタルの確立 とトータルピーアールのプロを目指す	2・ 後	30	2	○				○				○
176			○	インターン シップⅠ－Ⅰ	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社 会人基礎力を身に付ける	1・ 通	45	1					○		○		○
177			○	インターン シップⅠ－Ⅱ	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社 会人基礎力を身に付ける	1・ 通	45	1					○		○		○
178			○	インターン シップⅠ－Ⅲ	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社 会人基礎力を身に付ける	1・ 通	45	1					○		○		○
179			○	インターン シップⅠ－Ⅳ	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社 会人基礎力を身に付ける	1・ 通	45	1					○		○		○
180			○	インターン シップⅡ－Ⅰ	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社 会人基礎力を身に付ける	2・ 通	45	1					○		○		○
181			○	インターン シップⅡ－Ⅱ	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社 会人基礎力を身に付ける	2・ 通	45	1					○		○		○
182			○	インターン シップⅡ－Ⅲ	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社 会人基礎力を身に付ける	2・ 通	45	1					○		○		○
183			○	インターン シップⅡ－Ⅳ	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社 会人基礎力を身に付ける	2・ 通	45	1					○		○		○
184			○	インターン シップⅢ－Ⅰ	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社 会人基礎力を身に付ける	2・ 通	45	1					○		○		○
185			○	インターン シップⅢ－Ⅱ	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社 会人基礎力を身に付ける	2・ 通	45	1					○		○		○
186			○	インターン シップⅢ－Ⅲ	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社 会人基礎力を身に付ける	2・ 通	45	1					○		○		○
187			○	インターン シップⅢ－Ⅳ	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社 会人基礎力を身に付ける	2・ 通	45	1					○		○		○
合計						187	科目	294 単位（単位時間）									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件： 本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示すとおりとする。	1 学年の学期区分	2 期
履修方法： 原則として教育課程に定められている順序で履修する。サロンワーク I -E は必履修科目とする。	1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。